

簡易操作マニュアル

当製品は多機能な為、使いこなすには説明書を良く読み使用方法を覚えて下さい。
ここでは基本的な操作方法のみを説明致します。

各入力の使用状態及び呼び出しボタン登録 (設定状況を記載して下さい。)

- AV1 呼び出しボタン _____ 使用しない
AV2 呼び出しボタン _____ 使用しない
Camera1 HOME2連打 ステアリングJOG2連打 使用しない
Camera2 HOME2連打 ステアリングJOG2連打 使用しない

AV入りに接続した映像を表示する

呼び出しボタンにはAVソースの音声再生をする純正メディアソースを登録する事でワンタッチで映像と音声呼び出せます。内蔵A/Dコンバーター機能ご利用の場合はUSBソース内に「AT-VEM710PU」とデバイス名が表示されていますので、そのソースを呼び出しボタンに登録して下さい。
呼び出しボタンを押す度に画面サイズがFULL/MAIN/SUBと切り換わります。

リモコン信号コントロール対応機器の接続の場合、オーディオ部左右スイッチ、ステアリングJOGなどで操作可能です。
(地デジのチャンネル変更など……)

純正画面に戻すにはiDriveコントローラーのHOME/MEDIA/COM/MAP/NAV/アプリのいずれかを押します。

Camera入りに接続した映像を表示する

呼び出したいCamera入力を上記のボタンを押す事で画面が切り換わります。
表示サイズを変更するにはカメラ映像が映っている状態でOPTIONボタン2回連打です。
アルパイン製フロントカメラをFULLサイズで表示している場合はiDriveコントローラー↓スライドで表示方法が3パターン切り換え可能です。

動作に不具合が出た場合の対処

画面がブラックアウトしたり点滅するような症状が出た場合は、iDriveコントローラーの「BACK」ボタンを5秒長押しして下さい。当製品が再起動します。
それでも改善しない場合は純正オーディオ部のボリュームボタンを約30秒長押しして下さい。純正オーディオが再起動します。

Visual Expand Module

AT-VEM710PU 
MADE IN JAPAN

ver 1.0x.xx

USERS MANUAL

Expand

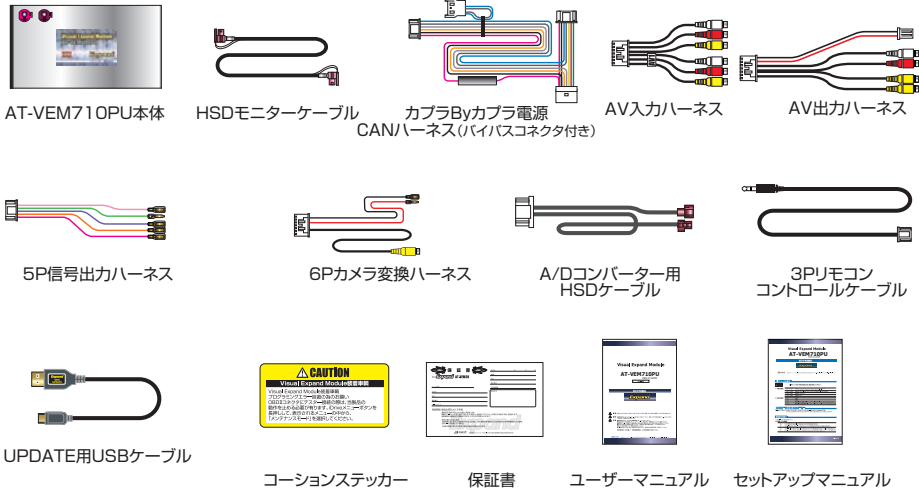
第7世代iDrive用(iD7)の外部映像入力装置です。
コントロール対応地デジはバイオニア、データシステム、パナソニック、Elut、アルパインです。
AV2入力にてElut製DVDプレーヤーのコントロール対応です。
(アルパインDTV、ElutDVD装着の際は別売のAT-IR335を使用する事でコントロール可能になります。)
A/Dコンバーター機能内蔵の為、AV1/AV2に接続した機器の音声をUSBソースから再生させる事が可能です。

- ⚠ 注意** ● 当製品は純正モニターに外部映像を入力する為の機器です。
車輻システムは高度に制御された通信で動作していますが、稀に外来ノイズの影響などで正常動作が出来なくなる可能性が有ります。
PCやスマートフォンなどが稀にフリーズなど正常動作出来ない不具合が起きると同様とお考え下さい。
不具合などについては13ページの「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

もくじ

- 1 もくじ、商品構成
- 2 VEMメニューの設定1 操作方法
- 3 VEMメニューの設定2 映像入力設定
- 4 VEMメニューの設定3 映像出力設定、リバースアクション設定
- 5 VEMメニューの設定4 その他設定
- 6 VEMメニューの設定5 メンテナンスモード、アップデート、ステータス表示
- 7 外部映像の表示方法
- 8
- 9 コントロール対応地デジチューナー操作表
- 10 コントロール対応地デジチューナー操作表
- 11
- 12 DVDプレーヤーコントロール操作表
- 13 ご使用に当たっての注意事項、故障かな?と思ったら1
- 14 故障かな?と思ったら2
- 15 簡易操作マニュアル(基本操作)

商品構成



故障かな?と思ったら2

iDriveモニター画面が映らなくなった・・・

この症状には幾つかの違いがあります。下記の何れかの状態を確認して下さい。

ブラック画面に赤字で「NO SIGNAL」。オーディオは鳴っている・・・

何らかの理由で純正モニターが当製品がエラーを起こしたと思われる。純正オーディオ部のボリュームボタンを約30秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。iDriveコントローラーの「BACK」ボタン5秒長押しして下さい。当製品が再起動致します。

ブラック画面に赤字で「NO SIGNAL」。オーディオも止まった・・・

何らかの理由で純正オーディオ部がエラーを起こしたと思われる。純正オーディオ部のボリュームボタンを約30秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。

「NO SIGNAL」が表示されずに最初からブラックアウト。オーディオは鳴っている・・・

何らかの理由で当製品の映像出力部にエラーが発生したと思われる。iDriveコントローラーの「BACK」ボタン5秒長押しして下さい。当製品が再起動致します。

「NO SIGNAL」が表示されずに最初からブラックアウト。オーディオも止まった・・・

純正オーディオがオーバーヒートなどで停止した可能性があります。しばらく放置してから純正オーディオ部のボリュームボタンを約30秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。

「NO SIGNAL」となった後に完全なブラックアウト

不具合箇所の特定が出来ません・・・
純正オーディオ部のボリュームボタンを約30秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。iDriveコントローラーの「BACK」ボタン5秒長押しして下さい。当製品が再起動致します。両方の再起動動作を行ってみて下さい。

ブルースクリーンになった・・・

この症状にも2種類あります。当製品は当製品の外部入力表示時に映像信号が無ければブルースクリーンを表示します。また最近の純正DTVなどもエラーの際はブルースクリーンを表示するようです・・・

純正地デジ視聴中にブルースクリーンになった・・・

純正メニューやMAPIは映るのに純正地デジのみブルースクリーンですか?
純正地デジチューナーのエラーです。復帰させるには車輻を第2スリーブまで入れる必要が有りそうです。
※第2スリーブは車輻OFFでキーロックして約3分放置です。アンロックのままだと時間が掛かります。

外部映像機器視聴中にブルースクリーンになった・・・

外部映像機器視聴中にブルースクリーンになった・・・
純正映像に問題無く外部映像のみがブルースクリーンですか? (2画面表示などで判ります)
外部映像機器の電源を確認して下さい。また当製品までの映像信号ケーブルの接触を確認して下さい。

純正バックカメラが映らない・・・

バックに入れてPDCイラストなどは映るのに、本来カメラ映像が映る部分がブラックアウトしている状態ですか?
これは純正カメラユニットがエラーを起こしている状態です。復帰させるには車輻を第2スリーブまで入れる必要が有りそうです。
※第2スリーブは車輻OFFでキーロックして約3分放置です。アンロックのままだと時間が掛かります。

使用中にiDriveがいきなり落ちてオープニングから始まった・・・

何らかのエラー蓄積や自動更新でiDriveコンピューターが再起動を行った可能性が有り。自己復帰動作ですので極稀に有ります。

純正機能に動作不具合が有る・・・

これは問題箇所の切り分けが必要です。当製品は新車時に装着するケースが多いと思われませんが、不具合の発生原因元が当製品なのか、純正側の何らかのユニットなのかを切り分ける必要が有ります。車輻に搭載の個々の電子モジュールと当製品のマッチング(相性)が良く無い場合にも不具合を誘発する可能性は有ります。相性問題の場合は不具合内容や発生状況にある程度関連性があったりします。必ず発生する場合や頻度が高く発生する場合はディーラーや取り付け業者にご相談下さい。極稀に起きる場合は割り切りが必要です。(先に書いた外来ノイズなどの可能性が高い)

極稀に不具合が発生する・・・

これは避けられないかも知れません・・・PCやスマートフォンなどが時々正常動作出来ない時があるのと同じ感じです。車輻の電子機器や当製品などは高度な電子技術の集合体です。外来ノイズなどが想定を超えた場合は不具合が出る可能性は有ります。車輻にもEMC対策の不十分な製品は取り付けないようにして下さい。ドラレコ、5V電源変換、LED類など・・・設計が不十分でノイズを発生している場合が有ります。

※その他、不具合っまいかな?と思われる事などが有りましたら弊社へお問い合わせ下さい。
また装着されている製品のプログラムVerをご確認下さい。
HPで公開しているVerより古い場合はUPDATEで改善する可能性も有ります。(更新内容もHP記載してあります)

※装着した外部機器に特化した部分は外部機器の取説をご確認下さい。

ご使用に当たって注意事項

極稀に正常動作出来ない場合が発生する可能性があります。

現在の車輛は各電子機器が高度に制御されたバス信号で通信されています。稀に起きる不具合などで再現方法が確定出来ない症状の場合は外来ノイズの影響を受けている場合があります。
(※違法無線機搭載車輛やEMC対策の不十分な電子機器搭載など、ノイズを発生している機器搭載車輛とのずれ違いなど…) 当製品はEMC対策なども十分に行い、地デジチューナーやGPSへの干渉なども起こらないように設計しています。製品のプログラム上でも動作に不具合を検知した場合は自動的に復帰動作するように設計しています。車輛純正の電子ユニット類でも稀に誤動作や再起動が起きる場合があるのも外来ノイズの悪影響と思われる。パソコンやスマートフォンが時々フリーズしたりすると同じように現在の多機能な電子機器ではある程度避けられない現象です。ご了承ください。

当製品のキャンセラー機能について

第7世代iDriveシステムではスピード信号を制御して走行中に映像メディアを視聴することは出来ません。ナビの自車位置精度に問題があるからです。当製品にはスピード信号を制御する機能は今回搭載しておりません。当製品のハードウェア設定を有効にすることでマルチメディア系のみ走行中の制限を解除する機能を搭載しています。純正DTV装備車輛はその視聴とUSBビデオソースが走行中制限が解除されます。しかしこの機能は恒久的に解除を保証するものではありません。車輛のUPDATEなどで動作しなくなれば当製品のみでは対処する事は出来なくなります。この機能はあくまでもサービス機能としての位置づけなので保証の対象外です。ご了承ください。この設定で解除選択しているにも関わらず、走行中視聴出来ない場合は再度上書き操作を行って下さい。それでも駄目な場合はこの機能の対象外です。

故障かな?と思ったら

AV入力切り換え時、時々ポップノイズが出ます……

現在選択しているAVソースで無音状態となっている時に入力切り換えを行って音声信号有りになった場合にポップノイズが発生する場合があります。ご了承ください。
音声信号有り→音声信号有りのソース切り換えでは発生しないはずです。

外部入力を呼び出せなくなった……

まずiDriveコントローラーの「HOME」ボタンの長押しでVEMメニューが表示されるか確認して下さい。

VEMメニューが表示されない……

当製品がメンテナンスモード状態で本体故障かヒューズ切れです。まずキーOFFで約1分放置(スタータースイッチのLED消灯後約5秒)した後に再起動して運転席ドアの開閉動作を行ってください。その後iDriveコントローラーのHOMEボタン長押しでVEMメニューが表示されればメンテナンスモード中だったと言う事です。それを行ってもVEMメニューが呼び出せない場合は点検が必要です。ヒューズ切れなどで当製品が動作出来ない場合は信号系は全てバイパス状態となっておりますので純正側機能には問題は有りません。

VEMメニューは表示される……

何らかの設定ミスで入力の呼び出しボタンが未設定になっている可能性があります。VEMメニューからその入力の呼び出しボタンの設定を行ってください。

VEMメニューの操作

第7世代iDrive(id7)では純正モニターが更に高精細液晶を採用しています。その為当製品が表示するメニュー画面などはFULLスクリーンで表示する事が出来ません。純正MAPを2画面表示で使用する方法をデフォルトとして頂けるとそのようなメニュー表示などにして頂ければ違和感無く画面表示出来ます。

VEMメニューの操作 (純正モニターが高精細液晶に変更された為VEMメニューは左側約2/3に表示されます。)

車輛を起動してiDriveコントローラーの「HOME」ボタンを長押しします。画面左側にVEMメニューが表示されます。VEMメニューの右下にはプログラムVerが表示されます。iDriveコントローラーのダイヤルを回すと赤枠アイコンが移動します。選択した赤枠アイコンでどのような設定が出来るのかは画面上部に説明文が表示されます。確認しながら操作して下さい。iDriveコントローラーでプッシュ操作を行うと決定動作となり、アイコンがハイトーン色に換わります。既に設定されている項目はハイトーンアイコンで表示されています。トーンダウンしたアイコンは現在設定不可の項目です。複数設定出来る項目ではハイトーン状態のアイコンを再度プッシュする事で選択解除されます。



純正メニュー画面の左上に有るHOMEアイコンを約2秒タッチしますと当製品のVEMメニュー画面に切り換わります。アイコンをタッチしますと赤枠が移動して、そのアイコンでどのような設定が出来るのか説明文が画面上部に表示されます。赤枠アイコンを再度タッチしますと決定動作となります。



入力設定
当製品の各入力のON/OFFの他、詳細設定を行います



出力設定
リヤモニターを接続した際の出力設定を行います。



リヤリアクション設定
リヤース時などに当製品にどのようなアクションをさせるか設定します。



その他設定
リモート信号設定やセーフティ機能の設定、ブザー音の設定などを行います。



ステータスマニター
車輛状態をグラフィカルに表示するステータスマニターの表示用アイコンです。



メンテナンスモード
ディーラーなどでメカニックの方が作業する際に使用します。ユーザー様が行う必要は有りません。



UPDATEモード
当製品のファームウェアをUPDATEする際に入ります。



戻る
前の画面に戻ります。
(iDriveコントローラーの「BACK」ボタンでも戻れます。)

映像入力設定

各入力のON/OFF設定

デフォルトでは各入力は「使用する」設定となっています。接続しない入力は「使用しない」に切り換えて下さい。

※「使用しない」を選択した時点で呼び出しボタン設定も破棄されます。後に「使用する」に切り換えた際は呼び出しボタン設定も行って下さい。

AV2入力とCamera2入力は切り換え方式でどちらか片方のみ使用可能です。(デフォルトではAV2使用となっています) Camera2入力を「使用する」にした場合、AV2入力は強制的に「使用しない」となります。

この部分はインストレーターが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。

Camera2ではCamera1同様の設定方法となりますが、Camera2専用電源コントロール機能はありません。

AV入力とCamera入力の違い

AV入力ではAV1/AV2がAVセレクターとして機能致します。表示画面サイズは全て引き継がれます。Camera入力ではCamera1とCamera2表示サイズは個別に記憶します。またCamera入力は映像のみの制御となるので、AV入力側の音声はそのまま再生が続きます。Camera入力の映像はリヤモニター出力へは出力されません。

映像入力設定

ラストソース



このアイコンを選択しておきますと、例えば前回AV1の地デジを視聴していて車輻OFFにした場合、次回車輻起動時に自動的にAV1を呼び出します。この機能をOFFでご使用の場合は次回起動時は必ず純正画面からの起動を維持します。デフォルト設定はOFFです。

呼び出しボタンの設定



各入力と呼び出すボタンを設定します。デフォルト設定では下記のボタンが登録されています。

AV1	プログラマブルボタン1
AV2	プログラマブルボタン2
Camera1	ステアリングJOGダイヤルプッシュ2回連打

※呼び出しボタンを変更する場合など他入力で使用されているボタンを選択した場合は上書き登録され入力側の設定は破棄されます。
 ※入力ソースを「使用しない」を選択した時点でこの設定も破棄されていますので入力「使用する」に切り換えたら呼び出しボタン設定も必須です。

AV入力の呼び出しボタンに設定したプログラマブルボタンには音声入力したソースを登録（純正機能）する事で映像と音声をワンタッチで切り換える事が可能です。
 当製品内蔵のA/Dコンバーター使用で有れば純正メディアソースの中にデバイス名AT-DEM710PUが有るはずで、そのソースを登録します。

各入力のOSD設定



各入力と呼び出した際に画面上に1秒間表示するマークを選択します。

- ※OSDが表示されている1秒間は他の操作を受け付けません。消えてから操作して下さい。
- ※Camera入力にバックカメラを装着してリバースアクションで呼び出されている時はOSD表示出来ません。（ガイドラインが優先されます…）
- ※設定でOSDを「使用しない」も選択可能です。

IR信号設定



この部分はインストローラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。

AV1やAV2にコントロール対応機器を接続して適切に結線してある場合、車輻スイッチにて機器のリモコン信号を送信する事が可能となります。取り付けした機器に合わせ、リモコン信号を選択します。（AV2はElutDVD一択なので設定は有りません。）
 操作信号の出力には9ページ10ページなどをご覧ください。

Camera1入力専用電源

この部分はインストローラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。
 Camera1入力には専用の電源出力があります。その出力タイミングを設定します。



Camera LINK
 Cameraを表示する時に電源を出力します。Cameraを接続する場合の設定です。（接続するカメラによっては8Vでは駄目な場合があります。）

IG-ON LINK
 IG-ON以上で常に電源を出力します。5V電源で動作可能なレーダー探知機などの電源に便利です。

CAN LINK
 車輻がスリープから起きている時に電源を出力します。5V電源で動作可能なドライブレコーダーなどに使用すると便利です。

View Point機能



Camera入力にフロントカメラやサイドカメラを接続した場合、カメラを表示したい地点でアイコン登録すると、次回からその地点で自動的にカメラ表示モードに切り換わるようになります。
 登録されているアイコンを再度選択すると登録解除となります。

- ※アイコンA~Dでは30m範囲、アイコンE~Gでは50m範囲となります。
- ※表示は25km/h以下の速度でなければなりません。表示範囲内でも30km/h以上になると自動的にOFFとなります。

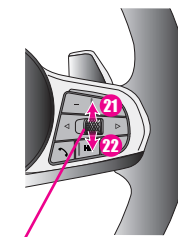
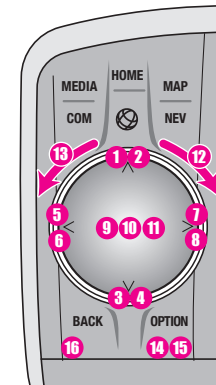
画質調整



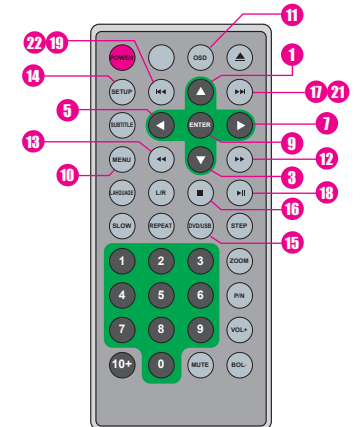
各入力は個別に画質調整が可能です。個々の好みに合わせ調整してご使用下さい。
 画質調整アイコンを選択するとそのソースの映像に切り換わります。画面上部に調整項目が表示されます。iDriveコントローラーを左右にスライドする事で項目移動、ダイヤルを回す事で数値変更が出来ます。調整が終わったら「戻る」アイコンで戻ります。

Elut製DVDプレーヤーのコントロール

AV2入力の表示連動でElut製DVDプレーヤーAG401DVのコントロールが車輻スイッチで可能になります。（専用IRケーブルAT-IR335での接続が必要）
 エキスパートモード以外ではiDriveコントローラーは純正機能操作を優先する為に純正画面が観える状態の時はiDriveコントローラーでの操作は停止します。iDriveコントローラー以外のスイッチは有効です。



UP 選局 ↑ ボタン信号
 DOWN 選局 ↓ ボタン信号



ダイヤル↑スライド	1 短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	2 長スライド	
ダイヤル↓スライド	3 短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4 長スライド	
ダイヤル←スライド	5 短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	6 長スライド	
ダイヤル→スライド	7 短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	8 長スライド	
ダイヤルプッシュ	9 短押し	リモコンのENTERボタン信号
ダイヤルプッシュ	10 2回連打	リモコンのMENUボタン信号
ダイヤルプッシュ	11 長押し	リモコンのOSDボタン信号
ダイヤル	12 右回転	リモコンの▶▶ボタン信号
ダイヤル	13 左回転	リモコンの◀◀ボタン信号
OPTIONボタン	14 短押し	リモコンのSETUPボタン信号
OPTIONボタン	15 長押し	リモコンのDVD/USBボタン信号
BACKボタン	16 短押し	リモコンの■ボタン信号
オーディオ部→ボタン	17 短押し	リモコンの▶▶ボタン信号
オーディオ部→ボタン	18 長押し	リモコンの▶▶ボタン信号
オーディオ部←ボタン	19 短押し	リモコンの◀◀ボタン信号
オーディオ部←ボタン	20 長押し	
ステアリング部↑	21	リモコンの▶▶ボタン信号
ステアリング部↓	22	リモコンの◀◀ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

映像出力設定

当製品はAV入口に接続したAV機器の映像出力はもちろん、純正映像の出力にも対応しています。フロントモニターで外部AV機器を視聴中は運動してその映像が出力されます。フロントモニターをMAPなどに切り換えてもリアモニター出力にはAV機器の映像が出力され続けます。リアモニター出力を純正映像に切り換えるにはiDriveコントローラーの「MEDIA」ボタンを押します。

純正映像出力設定



BMWのオリジナルモニターは8:3の横長ワイドモニターです。これをそのまま16:9モニターに表示しますと変な表示となります。どの部分の映像を出力するかをこのアイコンで設定します。



CENTER

iDriveモニターの中央部分のみを出力します。純正DTVやUSBビデオソースの出力に最適化しています。



FULL

iDriveモニターに映る全ての範囲を出力します。横に詰まったような表示方法となります。余り使う事は無いでしょう。フロントモニターでズーム表示を利用している場合などにする表示方法ですが、上下の映像はカットされているので良い表示方法では有りません。

純正映像切り換え呼び出しボタン設定



リアモニター出力を純正映像に切り換えるにはiDriveコントローラーの「MEDIA」ボタンを押しますが、この操作をプログラマブルボタンにも登録出来ます。登録したプログラマブルボタンに純正DTVなどを登録すればワンタッチでリアモニターにも純正DTVが表示可能になります。

リバースアクション設定

リバースアクション設定 この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。



外部映像視聴中にバックギヤに入れた時などの画面を切り換える動作の設定です。



純正バックアシスト装備車輛の設定です。基本的にカメラやPDC画面を消す操作で元の画面に戻ります。
※リバースアクション中を伝える為、画面下に黄色い文字でOSD表示が出ます。



純正バックアシスト表示画面を表示しながら小窓サイズでCamera1入力の映像を表示します。



純正バックアシスト表示画面を表示しながら小窓サイズでCamera2入力の映像を表示します。



外部映像視聴中にバックに入れても無反応です。バックアシスト装備無し車輛用の設定です。



バックに入るとCamera1入力を呼び出します。社外バックカメラ取付の設定です。



バックに入るとCamera2入力を呼び出します。社外バックカメラ取付の設定です。

純正画面にカメラ映像小窓表示する表示方法を選択した場合、小窓位置はデフォルトでは純正カメラ映像の左上部分になります。

この小窓カメラ映像をタッチして移動する事で好みの場所に移動出来ます。更にステアリングJOGダイヤルを操作する事で小窓サイズの変更が可能です。移動した地点と小窓サイズは記憶されて次回からの表示に引き継がれます。

純正バックカメラ無し車両で社外バックカメラを装着した場合は、カメラ映像をリバース連動で表示する事は出来ませんがガイドラインを表示する事は出来ません。取り付けるカメラにライン表示機能の有る製品などを使用してください。

その他設定

リモート信号の設定 この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。



リモート信号入力線を使用しません。(デフォルト設定値です。)



リモート信号入力があるとCamera 1入力を強制的に呼び出します。



リモート信号入力があるとCamera 2入力を強制的に呼び出します。

※リモート信号が入力されている間に自らの操作でカメラ映像を消す事も可能です。その場合リモート信号が入力されている間「Now,remote input」とOSD表示されます。

オペレートモード設定



車輻スイッチによるリモコン信号出力は外部AV映像FULL画面表示の時にFULL操作が可能で2画面表示の時は制限されます。



車輻スイッチによるリモコン信号出力は常にFULL操作可能で純正側コントロール/外品コントロールを切り換えての使用になります。切り換え操作はiDriveコントローラーの「MAP」ボタンをロングタッチです。画面上にOSD表示が出てどちらのコントロールが判別出来ます。

A/Dコンバーターゲイン調整



USB経由での外部AV機器の音声入力のボリュームレベルを調整します。入力された音声が必要な範囲で他のソースボリュームに近くなるように調整します。機器により余り上げられない場合もあります。ご了承下さい。

セーフティモードについて



当製品のAV入力に接続した機器の映像を走行中に制限するかの設定です。



停車中のみ視聴可能です。走行中は純正画面に戻り「走行中は表示出来ません。」とOSD表示されます。停車すると再び観れますが、途中でDrive操作などをしてOSD表示が消えた場合はそれは既に純正状態なので戻りません。



走行中でも視聴可能となりますが、あくまでも自己責任でお願いします。

純正セーフティについて



第7世代iDriveシステムからスピード信号を制御して解除する方法はナビ自車位置が狂う為使用出来ません……当製品にはマルチメディア系のみ走行中制限を解除する機能を搭載していますが、恒久的な動作保証は出来ません。

車輻のプログラム更新によっては動作出来なくなる事も予想されますのでご了承下さい。当機能はあくまでもサービス機能です。

当機能はハードウェア設定で許可されている場合のみ活性化されます。アイコンが選択できる状態にならない場合はハードウェア的に許可されない状態ですのでご使用出来ません。

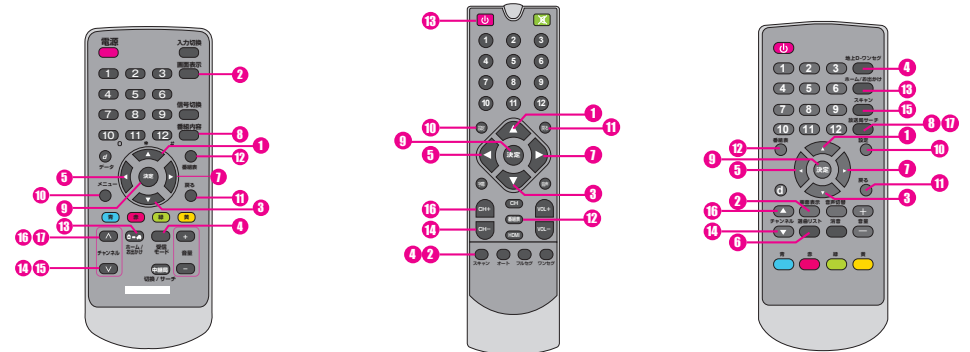


純正状態です。走行中は観れません。



アンロック状態で走行中でも視聴可能です。このアイコンを選択しても観れない場合は再度選択してみてください。

それでも観れない場合は車輻はこの機能に対応出来ません……



パナソニック

Elut

アルパイン

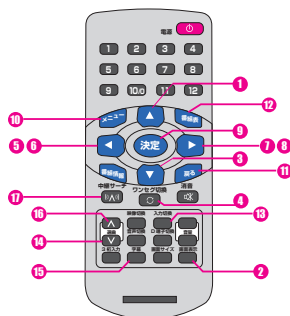
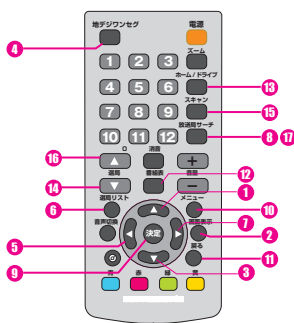
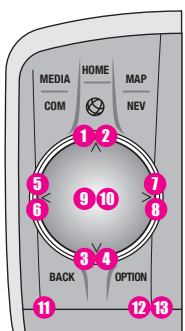
1 リモコンの↑ボタン	1 リモコンの↑ボタン	1 リモコンの↑ボタン
2 リモコンの画面表示ボタン	2 リモコンのスクリーンボタン	2 リモコンの画面表示ボタン
3 リモコンの↓ボタン	3 リモコンの↓ボタン	3 リモコンの↓ボタン
4 リモコンの受信モードボタン	4 リモコンのスクリーンボタン	4 リモコンの地上D→ワンセグボタン
5 リモコンの←ボタン	5 リモコンの←ボタン	5 リモコンの←ボタン
6 無し	6 無し	6 リモコンの選局リストボタン
7 リモコンの→ボタン	7 リモコンの→ボタン	7 リモコンの→ボタン
8 リモコンの番組内容ボタン	8 無し	8 リモコンの放送局サーチボタン
9 リモコンの決定ボタン	9 リモコンの決定ボタン	9 リモコンの決定ボタン
10 リモコンのメニューボタン	10 リモコンの設定ボタン	10 リモコンの設定ボタン
11 リモコンの戻るボタン	11 リモコンの戻るボタン	11 リモコンの戻るボタン
12 リモコンの番組表ボタン	12 リモコンの番組表ボタン	12 リモコンの番組表ボタン
13 リモコンのホーム/おでかけボタン	13 リモコンの電源ボタン	13 リモコンのホーム/おでかけボタン
14 リモコンのチャンネル↓ボタン	14 リモコンのCH-ボタン	14 リモコンのチャンネル↓ボタン
15 リモコンのチャンネル↓ボタンの長押し信号	15 リモコンのスクリーンボタン	15 リモコンのスクリーンボタン
16 リモコンのチャンネル↑ボタン	16 リモコンのCH+ボタン	16 リモコンのチャンネル↑ボタン
17 リモコンのチャンネル↑ボタンの長押し信号	17 リモコンのスクリーンボタン	17 リモコンの放送局サーチボタン
18 リモコンのチャンネル↑ボタン	18 リモコンのCH+ボタン	18 リモコンのチャンネル↑ボタン
14 リモコンのチャンネル↓ボタン	14 リモコンのCH-ボタン	14 リモコンのチャンネル↓ボタン

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

※タッチパネル搭載車輻は地デジ映像の上側/下側をタッチする事でチャンネル変更可能です。

各地デジチューナーの操作表

- 地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。

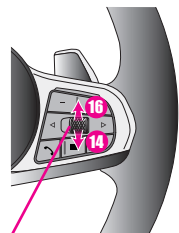


純正スイッチでの操作

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ダイヤル↑スライド	ショート	ロング															
ダイヤル↓スライド	ショート	ロング															
ダイヤル←スライド	ショート	ロング															
ダイヤル→スライド	ショート	ロング															
ダイヤルブッシュ	ショート	ロング															
BACK	ショート																
OPTION	ショート																
オーディオ部←ボタン	ショート	ロング															
オーディオ部→ボタン	ショート	ロング															
ステアリング部↑ボタン	ショート	ロング															
ステアリング部↓ボタン	ショート	ロング															

パイオニア/ユニデン

データシステム



※タッチパネル搭載車輻は地デジ映像の上側/下側をタッチする事でチャンネル変更可能です。

UP 選局 ↑ボタン信号
DOWN 選局 ↓ボタン信号

メンテナンスモードについて

これはユーザー様が操作する事は有りません。ディーラーなどで車輻プログラミングの際にエラーを回避する為にメカニックの方に操作してもらおうモードです。

BMWメカニックの方へ

OBDIIへテスター接続でプログラミングを行う際はメンテナンスモードに入れて当製品の動作を停止して下さい。メンテナンスモード画面で説明文が表示されますので一読して下さい。

※画面を出さなくてもiDriveコントローラーHOME10秒長押しでも強制的にメンテナンスモードに突入出来ます。

メンテナンスモード中は当製品は純正映像経路とCAN信号経路がバイパス状態となりステルス状態となります。メンテナンスモードが終了するまで通常動作は出来なくなっています。

メンテナンスモードを終了するには2つの条件を満たす必要が有ります。

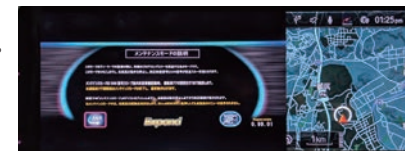
- ① 車輻が第1スリープに突入する。(CAN信号の停止)
- ② 再起動後、運転席ドアの開閉信号を入力。

これで当製品は通常動作に戻ります。

車輻のリプログラミング時でも問題を起こさないように設計して有ります。

※車輻不具合などで問題箇所の切り分けを必要とする場合、長期的に当製品をバイパスする必要があるかと思えます。その際は、当製品本体の電源コネクタを抜きハーネスに固定してあるバイパスコネクタに差し換える必要があります。配線上でCAN信号がバイパスされ物理的に当製品を取り外した状態と同様になります。

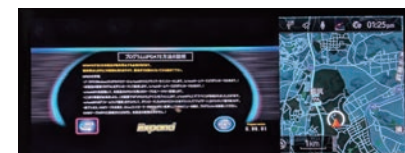
メンテナンスモード中では自動復帰させる為に純正状態に戻つつもCAN信号の監視のみ行っています。



プログラムUPDATEについて

当製品は安定性向上やバグ修正、新たな機能の追加など改良を常に行っています。既に装着済み製品でも最新プログラムを適応する事が簡単に出来る設計となっています。車輻から取り外す必要は有りません。製品付属のUPDATE用USBケーブルとノートPCを接続して行います。UPDATEの方法に関しては、弊社HPで詳しく紹介していますのでそちらをご覧ください。

※当製品のVEMメニューを開きますと右下に現在のプログラムVerが表示されています。HPで公開のVerより古い場合はUPDATEする事で機能追加されたり安定性が向上したりします。



ステータスモードについて

タコメーター表示 トルクメーター表示 ステアリング操舵角表示
 スピード表示 油温表示 Gモニター表示
 シフトポジション表示 水温表示 ブレーキ表示
 パワーメーター表示 ヨーレート表示



VEMメニューのアイコンから選択する以外には純正画面の状態からiDriveコントローラーのOPTIONボタンを長押しする事でも呼び出せます。

外部映像の表示方法

AV1/AV2の呼び出し

VEMメニューの各入力の詳細設定で登録したオーディオ部のプログラマブルボタンを押す事で表示されます。
登録したボタンを押す度に表示する画面サイズがFULL→MAIN→SUBと変わります。
呼び出しボタンには音声を再生する為のソースを登録して下さい。(純正機能です。)

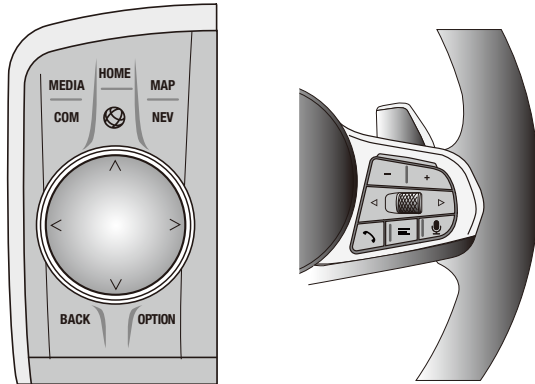


VEM内蔵のA/Dコンバーターで入力した場合は
USBソースのデバイス名AT-VEM710PUを登録して下さい。

Camera入力の呼び出し

VEMメニューの各入力の詳細設定で登録した呼び出しボタンを操作する事で表示されます。
カメラ映像が表示されている状態でiDriveコントローラーのOPTIONボタンを2回連打する事で画面サイズが変わります。
アルパイン製のフロントカメラを接続した場合、フロントカメラ映像がFULL画面で表示されている状態の時にDriveコントローラーを↓スライドする事で表示方法が3パターン変化致します。

その他ステータスモニターの表示も純正画面状態の時にiDriveコントローラーのOPTIONボタンを長押しする事で直接呼び出せます。
車輻の高精細液晶の為ステータスモニター表示は画面左側の2/3に表示され右側1/3はMAPが表示されるようになります。ナビは純正機能の2画面表示を設定しておくとうまい感じに表示出来ます。



AV入力に接続した機器で当製品のリモコン信号対応機器であれば車輻スイッチ類操作である程度の操作が可能になります。